

令和 1 年度自己点検・自己評価及び学校関係者評価報告書

学校法人ひらた学園

広島国際医療福祉専門学校

1. 学校の教育目標

本校は年齢を越えた様々な人と共に学び、自分と向き合い「自立」していくための学校です。教育理念は「個人の自立と地域社会に貢献できる人材育成」、一人一人が自立し自分の力を地域社会や自分の人生へきちんと活かすことのできる人材の育成です。教育目標は、「人間性」「希望」「個性」「未来」の四つをキーワードとし「人間性・個性を大切にし、人の持つ可能性を引き出し豊かな人生を一人一人が送ることのできる基礎教育を行います。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

令和 2 年 4 月からの校名変更に伴う広報告知活動を教職員全員で重点的に取り組みます。

介護福祉士コースへの国内日本語学校卒業の留学生受入れを促進するとともに福祉施設への広報活動と連携強化を図ります。

令和 2 年 4 月の日本語学科開設に向けた受入体制及び教職員体制の確立を図ります。

リハビリテーション学科の完成年度、1 期生の国家試験合格そして就職へ教職員が一丸となって取り組みます。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目的・人材育成像

| 評価項目 | | 自己評価 | 学校関係者評価 | | |
|------|--|-------------------------------|---------|---|--|
| | | 適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1 | 評価委員意見 | | |
| 1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | ④ 3 2 1 | 4 ③ 2 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・校名変更に伴う学内外への周知徹底を図る必要がある。 ・日本語学科開設での受入体制や学生対応の教職員研修が必須。 ・幅広い年齢層が学べる……社会人への広報活動が課題。 | |
| 2 | 学校独自の日本語教育の特色は定められているか | 4 ③ 2 1 | | | |
| 3 | 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・関係先に周知がなされているか | 4 ③ 2 1 | | | |
| 4 | 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する社会のニーズに向けて方向づけられているか | ④ 3 2 1 | | | |

自己評価における

① 課題

医療分野や介護・保育分野との連携、日本語学科そして介護福祉士コースへの留学生入学、校名変更など学校自体の再編・再構築期である。非常勤

講師を含めた教職員全員で専門学校としての内容や目的、将来像などその特色を広く共有して学生指導や広報活動していくことが必須である。

② 今後の改善方策

学校の特色を、広く周知できるように教職員に研修等を行い、学生への教育及び学園目標を共有できるような体制を構築していく。

(2) 学校運営

| 評価項目 | | 自己評価 | 学校関係者評価 | | |
|------|--------------------------------|-------------------------------|---------|---|--|
| | | 適切－4、ほぼ適切－3、 やや不適切－2、不適切－1 | 評価委員意見 | | |
| 1 | 目的に沿った運営方針が策定されているか | ④ 3 2 1 | 4 ③ 2 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・学科廃止と学科新設、大きな決断だったと思うが、時代に即応した学科編成が必要である。 ・オンライン授業等、導入を検討すべき時期でもある。 | |
| 2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | ④ 3 2 1 | | | |
| 3 | 運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか | ④ 3 2 1 | | | |
| 4 | 人事、給与に関する規定等は整備されているか | 4 3 2 1 | | | |
| 5 | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | ④ 3 2 1 | | | |
| 6 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 3 ② 1 | | | |
| 7 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4 ③ 2 1 | | | |
| 8 | 危機管理体制は整備されているか | 4 ③ 2 1 | | | |

自己評価における

① 課題

学科新設等で教職員の入れ替わりもあり、運営組織や職務管掌などの再構築に取り組む必要。

② 今後の改善方策

学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会など外部識者の意見を運営に反映させる。

(3) 教育活動

| 評価項目 | | 自己評価 | 学校関係者評価 | | |
|------|--------------------------------|-------------------------------|---------|--|--|
| | | 適切－4、ほぼ適切－3、 やや不適切－2、不適切－1 | 評価委員意見 | | |
| 1 | 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 ③ 2 1 | 4 ③ 2 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師を含めた教員の授業力や指導力の向上が必須。研修会 | |
| 2 | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | ④ 3 2 1 | | | |

| | | | |
|---|---|---------|---|
| 3 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | ④ 3 2 1 | や学科毎での分科会を開催する。 ・科目や教員の授業評価に取り組む検討をしてはどうか。 |
| 4 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 3 ② 1 | |
| 5 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | ④ 3 2 1 | |
| 6 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | ④ 3 2 1 | |
| 7 | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | ④ 3 2 1 | |
| 8 | 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 ③ 2 1 | |

自己評価における

① 課題

研修会などでの教職員の更なる技術と教育指導力のレベルアップそして学生への適切な指導力の強化に取り組む。

② 今後の改善方策

関連分野・関係施設等との定期的な情報交換会を設ける。又、授業評価についても検討を行っていく。

(4) 学修成果

| 評価項目 | 自己評価 | 学校関係者評価 | |
|--------------------------------|-------------------------------|---------|---|
| | 適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1 | 評価委員意見 | |
| 1 就職率の向上が図られているか | ④ 3 2 1 | 4 ③ 2 1 | ・学生面談や保護者面談を行い休学や中途退学を減らす。 ・卒業生を臨時講師に招いて特別講義を実施してはどうか。 |
| 2 資格取得率の向上が図られているか | ④ 3 2 1 | | |
| 3 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか | ④ 3 2 1 | | |
| 4 退学率の低減が図られているか | 4 ③ 2 1 | | |
| 5 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 4 ③ 2 1 | | |

自己評価における

① 課題

県外者や社会人も多く、卒業時はともかく卒業数年後の状況が全ての卒業生について把握できていない。

② 今後の改善方策

HP を活用して学校新聞やその他情報を定期的に発信してネットワークづくり。保護者懇談会や授業参観日を設ける。

(5) 学生支援

| 評価項目 | | 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | | | 評価委員意見 | |
|------|--------------------------|-------------------------------|---|---|---|---------|---|---|--------|--|
| | | 適切－4、ほぼ適切－3、 やや不適切－2、不適切－1 | | | | | | | | |
| 1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学科毎に就職支援から学生フォローまで幅広く行っていく。 ・学生満足度を高めるという意識を教職員が持ち共有する。 |
| 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 3 | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 4 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 5 | 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 6 | 保護者と適切に連携しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 7 | 卒業生への支援体制はあるか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |

自己評価における

① 課題

学生一人ひとりの状況を把握するためにも、学科毎に学生支援体制を強化する必要がある。

② 今後の改善方策

在校生や卒業生・保護者そして高校の先生方への情報提供やフォロー・連携に取り組んでいく。

(6) 在籍管理と生活指導

| 評価項目 | | 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | | | 評価委員意見 | |
|------|-----------------------------|-------------------------------|---|---|---|---------|---|---|--------|---|
| | | 適切－4、ほぼ適切－3、 やや不適切－2、不適切－1 | | | | | | | | |
| 1 | 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・留学生が多くなることから学生対応や入管対応など専任担当が必要ではないか。 |
| 2 | 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 3 | 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|-------------------|---|---|---|---|--|--|
| 4 | 常に最新の学生情報を把握しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
|---|-------------------|---|---|---|---|--|--|

自己評価における

① 課題

介護福祉士コースそして日本語学科へと留学生が増えるので全教職員の留学生対応力をどうするか。

② 今後の改善方策

全教職員の留学生対応力の研修や留学生支援センターの開設を検討する。

(7) 教育環境

| 評価項目 | | 自己評価 | 学校関係者評価 | | | |
|------|--|-------------------------------|---------|---|---|--|
| | | 適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1 | 評価委員意見 | | | |
| 1 | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・本館に老朽化による改修が必要な個所がある。 ・本館の空調及びLEDが新しくできたことは良かった。 ・医療/福祉/保育など実習連携先を充実させる必要がある。 |
| 2 | 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか | 4 | 3 | 2 | 1 | |

自己評価における

① 課題

本館の空調及びLEDを新しく出来たことは良かったが、その他改修工事が必要な個所がある。又、医療や福祉・保育での実習連携先を更に増やしていく必要がある。

② 今後の改善方策

学生の就職先や実習先との提携や連携を強化するために、学校見学会や意見交換会等を実施していく。

(8) 学生の募集と受入れ

| 評価項目 | | 自己評価 | 学校関係者評価 | | |
|------|--|-------------------------------|---------|--|--|
| | | 適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1 | 評価委員意見 | | |
| | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|----------------------------|---|---|---|---|---|--|
| 1 | 学生の受入方針は定められているか | ④ | 3 | 2 | 1 | | |
| 2 | 学生募集活動は、適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 | 4 | ③ 2 1 ・本校の強みや他校との違いをさらに明確化する必要。 ・学納金は各学科とも他校より安く設定されている。 |
| 3 | 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 | | |
| 4 | 適正な定員設定及び在籍者数になっているか | 4 | ③ | 2 | 1 | | |
| 5 | 学生納付金は妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 | | |

自己評価における

① 課題

高校新卒から社会人まで幅広い年齢層が入学対象なので、本校の強みや他校との差別化をどのように打ちだしていくか。

② 今後の改善方策

募集段階から保護者へのフォローや取り組み方法を考えていく。経済的理由で進学を悩んでいる人への支援対策。

(9) 財務

| 評価項目 | 自己評価 | 学校関係者評価 | |
|----------------------------|-------------------------------|---------|---|
| | 適切－4、ほぼ適切－3、 やや不適切－2、不適切－1 | 評価委員意見 | |
| 1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4 ③ 2 1 | 4 ③ 2 1 | ・理事会承認の中長期運営計画に基づき進められている。 ・会計事務所の四半期ごとのチェックが機能している。 |
| 2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 ③ 2 1 | | |
| 3 財務について会計監査が適正に行われているか | ④ 3 2 1 | | |
| 4 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 ③ 2 1 | | |

自己評価における

① 課題

財務基盤のより安定のために、学科毎の収支把握とメリハリのある予算編成を目指す。

③ 今後の改善方策

会計事務所と財務基盤安定への中長期計画を検討し策定する。

(10) 法令等の遵守

| 評価項目 | 自己評価 | 学校関係者評価 | |
|------|--------------|---------|--|
| | 適切－4、ほぼ適切－3、 | 評価委員意見 | |

| | | やや不適切-2、不適切-1 | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|---------------|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開や法令遵守、定期報告等適正に行われている。 ・自己評価・学校関係者評価も公開されている。 |
| 2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 3 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 4 | 自己評価結果を公開しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 5 | 関係省庁への定期報告を遅滞なく実施しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |

自己評価における

① 課題

自己評価での評価項目等について見直しながらより良いものにしていく。

② 今後の改善方策

留学生入学そして日本語学科新設など今まで以上に法令等の遵守に重点を置く。

(11) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | | 自己評価 | 学校関係者評価 | | | | | | | |
|------|---|-------------------------------|---------|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 適切-4、ほぼ適切-3、 やや不適切-2、不適切-1 | 評価委員意見 | | | | | | | |
| 1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | 3 | 2 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便や立地条件の良さなどから学校施設利用を促進してはどうか。 ・学生にボランティア情報を知らせるだけでなく積極的な参加を促す必要。 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |
| 3 | 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 | 3 | 2 | 1 | | | | | |

自己評価における

① 課題

地域の方々や医療系・福祉系の施設・団体に学校の存在や留学生の存在をどのようにして知ってもらうか？

② 今後の改善方策

学校の立地条件も良いので関係団体等の研修会開催への支援や教室貸出しなど積極的に行なう。